

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2026年4月15日

訪日外客数（2026年3月推計値）

◇3月：3,618,900人、3月として過去最高を更新

- 3月の訪日外客数は3,618,900人で、前年同月比では3.5%増となり、3月として過去最高を更新した。また、昨年に続き2年連続で3月までの累計で1,000万人を突破した。
- 例年3月下旬ごろから桜シーズンを迎えることに加え、4月のイースターに合わせたスクールホリデーによる訪日需要の高まり等もあり、東アジアでは、韓国、台湾、東南アジアでは、ベトナム、マレーシア、欧米豪では米国、英国を中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 米国、ベトナム、英国など7市場で単月過去最高を更新したほか、台湾、韓国、マレーシアなど13市場で3月として過去最高を記録した。
- 2026年3月に策定された第5次観光立国推進基本計画では、リピーター数を含めた旅行者数・旅行消費額・地方部延べ宿泊者数など政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2026年）（PDF・Excel）」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 単月過去最高の7市場は、インドネシア、ベトナム、米国、カナダ、英国、ドイツ、北欧地域。

* 3月として過去最高の13市場は、韓国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インド、豪州、メキシコ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2026年 訪日外客数・出国日本人数

2026 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2025	2026	伸率 Change %	2025	2026	伸率 Change %
1 Jan.	3,781,629 (3,455,149)	3,597,881 (3,242,173)	-4.9 (-6.2)	912,298	1,072,602	17.6
2 Feb.	3,258,491 (2,965,065)	3,466,700 *	6.4 *	1,181,062	1,093,250	-7.4
3 Mar.	3,497,755 (3,149,434)	3,618,900 *	3.5 *	1,423,449	1,519,000 *	6.7 *
4 Apr.	3,909,128 (3,587,187)			961,386		
5 May	3,693,587 (3,368,573)			1,076,756		
6 Jun.	3,377,985 (3,110,559)			1,054,045		
7 Jul.	3,437,118 (3,161,501)			1,205,435		
8 Aug.	3,428,406 (3,072,139)			1,648,279		
9 Sep.	3,267,228 (2,893,816)			1,394,525		
10 Oct.	3,896,524 (3,579,441)			1,243,575		
11 Nov.	3,518,195 (3,224,810)			1,330,014		
12 Dec.	3,617,791 (3,395,228)			1,300,741		
1~3 Jan.-Mar.	10,537,875 (9,569,648)	10,683,500 *	1.4 *	3,516,809	3,684,900 *	4.8 *
1~12 Jan.-Dec.	42,683,837 (38,962,902)			14,731,565		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists.
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan.
Crew members are excluded.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

◆Note 5. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

2026年3月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2025年比）

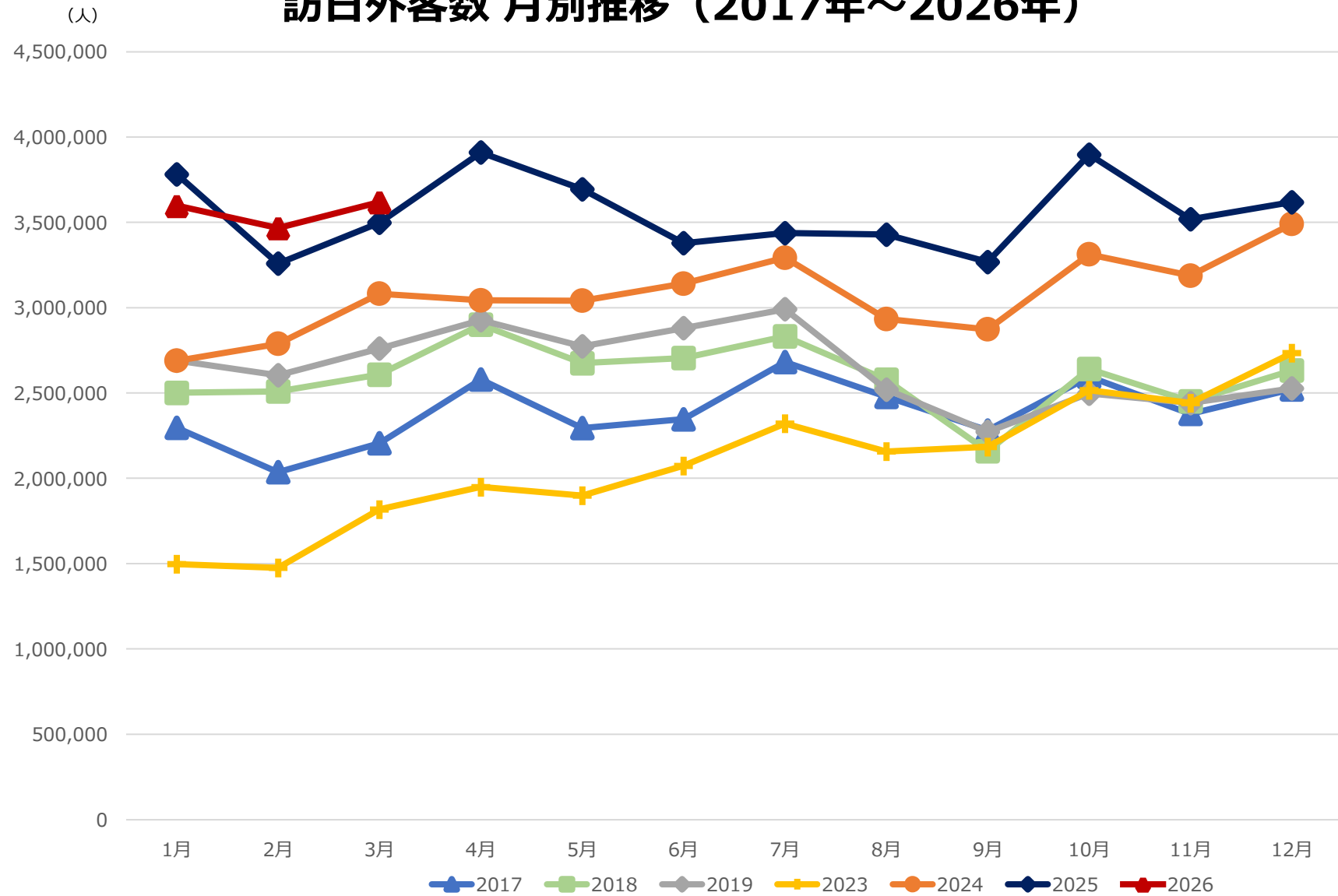
Visitor Arrivals for Mar. 2026 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2025)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2025年 3月	2026年 3月	伸率(%)	2025年 1月～3月	2026年 1月～3月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,497,755	3,618,900	3.5	10,537,875	10,683,500	1.4
韓国	South Korea	691,725	795,600	15.0	2,506,183	3,058,100	22.0
中国	China	661,817	291,600	-55.9	2,365,261	1,073,500	-54.6
台湾	Taiwan	522,886	653,300	24.9	1,623,663	2,041,500	25.7
香港	Hong Kong	208,369	216,300	3.8	647,599	650,200	0.4
タイ	Thailand	148,226	160,900	8.6	361,834	393,000	8.6
シンガポール	Singapore	65,297	71,000	8.7	153,274	170,800	11.4
マレーシア	Malaysia	53,109	76,600	44.2	192,971	208,800	8.2
インドネシア	Indonesia	60,599	82,800	36.6	170,855	208,000	21.7
フィリピン	Philippines	72,333	90,100	24.6	211,216	241,000	14.1
ベトナム	Vietnam	64,123	92,000	43.5	188,351	205,900	9.3
インド	India	32,967	41,400	25.6	62,111	75,800	22.0
豪州	Australia	84,761	96,900	14.3	313,713	344,700	9.9
米国	U.S.A.	342,752	375,900	9.7	716,802	803,400	12.1
カナダ	Canada	68,083	79,900	17.4	154,881	179,200	15.7
メキシコ	Mexico	14,612	24,800	69.7	34,728	55,500	59.8
英国	United Kingdom	58,140	70,200	20.7	115,926	135,300	16.7
フランス	France	36,478	40,300	10.5	79,511	91,500	15.1
ドイツ	Germany	48,064	58,500	21.7	79,444	98,700	24.2
イタリア	Italy	25,494	31,500	23.6	45,343	55,700	22.8
スペイン	Spain	17,826	24,300	36.3	35,054	44,600	27.2
ロシア	Russia	18,823	23,700	25.9	29,422	41,200	40.0
北欧地域	Nordic Countries	16,595	24,500	47.6	37,792	49,900	32.0
中東地域	Middle East	24,077	16,700	-30.6	46,759	44,200	-5.5
その他	Others	160,599	180,100	12.1	365,182	413,000	13.1

- ◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。
- ◆注2：上記の2025年の数値は暫定値、2026年の数値は推計値である。
- ◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。
訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。
駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
- ◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。
- ◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

- ◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.
- ◆Note 2. Above figures for 2025 are provisional, while figures for 2026 are the preliminary ones estimated by JNTO.
- ◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.
- ◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.
- ◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2026年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2026年3月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2026年4月10日時点)として
いる。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航
空路線で2026年3月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

注) 多くの市場において円安傾向が継続している。

注) 3月は例年桜シーズンによる訪日需要の高まりにより、多くの市場で訪日旅行者が多くなる傾向にある。

注) 欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となってい
る。

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、795,600人(前年同月比15.0%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、釜山～
静岡間の新規就航、仁川～成田間の増便の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高
を記録した。
- **中国**は、291,600人(前年同月比55.9%減)であった。訪日需要が落ち着く時期であることに
加え、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があった。航空便の減便の影響等も
あり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- **台湾**は、653,300人(前年同月比24.9%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、台中～
熊本間の新規就航、台北桃園～青森間の増便やスポーツイベントが日本で開催されたことの
影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- **香港**は、216,300人(前年同月比3.8%増)であった。イースター休暇の期ずれに伴うスクー
ルホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりの影響等もあり、訪日外客数は前年
同月を上回った。

② 東南アジア

- **タイ**は、160,900人(前年同月比8.6%増)であった。経済の不透明感による海外旅行需要の
低迷の影響等があるものの、2025年12月のバンコク～仙台間の復便や、バンコク～成田間、
バンコク～関西間の増便、祝日の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録し
た。
- **シンガポール**は、71,000人(前年同月比8.7%増)であった。訪中旅行の継続的な人気の影響

等があるものの、スクールホリデーや祝日、シンガポール～羽田間の増便の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

- マレーシアは、76,600人（前年同月比44.2%増）であった。訪中旅行の継続的な人気の影響等があるものの、イスラム教の断食明け休暇やスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、82,800人（前年同月比36.6%増）であった。イスラム教の断食明け休暇やスクールホリデー、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、90,100人（前年同月比24.6%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりや、クルーズ船の寄港、マニラ～新千歳間の増便の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、92,000人（前年同月比43.5%増）※であった。訪中旅行の継続的な人気の影響等があるものの、ホーチミン～中部間の増便や、ホーチミン～新千歳間でのチャーター便の運航の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
 - 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。
- インドは、41,400人（前年同月比25.6%増）であった。3月は訪日需要が高まり始める時期である中、デリー～羽田間、ムンバイ～成田間の増便の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、96,900人（前年同月比14.3%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- 米国は、375,900人（前年同月比9.7%増）であった。3月中旬から始まったスクールホリデーに加え、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- カナダは、79,900人（前年同月比17.4%増）であった。3月中旬から始まったスクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較した航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- メキシコは、24,800人（前年同月比69.7%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクー

ルホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりに加え、経路便の多様化や継続する訪日旅行人気等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、70,200人（前年同月比 20.7%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりに加え、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、40,300人（前年同月比 10.5%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日需要の高まりやクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、58,500人（前年同月比 21.7%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりに加え、継続する訪日旅行人気やクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、31,500人（前年同月比 23.6%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりに加え、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、24,300人（前年同月比 36.3%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりに加え、継続する訪日旅行人気やマドリード～成田間の期間増便の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、23,700人（前年同月比 25.9%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、経路便の多様化やクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- **北欧地域**は、24,500人（前年同月比 47.6%増）であった。イースターの期ずれに伴うスクールホリデーに合わせた3月下旬からの訪日需要の高まりに加え、訪日旅行に関する現地での報道の増加や前年同月と比較した航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- **中東地域**は、16,700人（前年同月比 30.6%減）であった。継続する訪日旅行人気やイスラム教の断食明け休暇の影響等があるものの、中東情勢による航空便の運休・減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。